

ほっかい いっぱい！ みさきっ子



御前崎市立御前崎小学校 学校だより 平成29年度 6月号

6月に入り梅雨入り宣言がされましたが、青空の日が多く、今年の梅雨雲の出番は少し遅れているようです。

昨年9月から、現6年生と、引き継いだ5年生が毎日見守り、世話をしたアカウミガメもすくすくと育ち、来月7月7日の放流の日を待っています。

さて、先月号で、次のPTAの3つの取り組みについて書きました。



「御前崎小学校PTAで取り組もう」

- 1 学年×10分+10分の家庭学習をさせよう。
- 2 ゲームは1時間以内。家族の会話を大切にしよう。
- 3 朝のあいさつとおやすみのあいさつを言おう、言わせよう。

今回は「家庭学習」について考えてみたいと思います。

お子さんに「なんで家でも勉強（宿題）をしなくちゃいけないの？」と聞かれたら何と答えますか？そんな疑問を持たずに、宿題を当たり前のようにやっていたら、それはりっぱなことであり、その疑問はいつかどこかで解決しているのかもしれませんが。

もし私が聞かれたら・・・（カッコ内はおそらく返ってくるだろう言葉です）

まず、「学校の学習のための予習・復習」。学校での勉強は決められた内容であり、それによって必要な力を身につけなければいけません。その力をより確かなものにするために、家でも補足的に勉強します。（・・・学校で全部覚えたらしくなくてもいいんだね）

それから、「家でも勉強する習慣をつける」。将来的に家でも勉強をしなくてはならない状況が生まれてきます。それは「決められた勉強」から「自分にとって必要な勉強」となっていくます。「自分から勉強する力」をつけるためです。（・・・勉強をしなくていい人生を送るもん）

そして、「自分から勉強する力」は、「自分の夢や目標を実現するために必要な力」＝「自分の人生を切り開いていく力」だと思います。（・・・う～ん、そういうもんかなあ～）

ほかに、「約束事を守る」、「親が子どもの勉強の様子、学習の力に関心を持つこと」などの意味もあるかも知れません。

子どもは「大人は宿題がなくっていいなあ」といいませんか？私も子どもの頃は思っていました。でも、大人にも宿題があることを大人の皆さんは知っていますよね。子どもに「なんで宿題をしなくってはいけないの？」と聞かれたら、子どもに対して大人が、「自分の考えを自分の言葉で伝えること」が大切だと思います。

（文責 校長：植田）



5年生が「どんどん公園で田植え」をしました

「どんどんの会」の方（代表：大澤達夫さん）にお世話になり、5月30日に田植え体験をしました。稲の生長を見守っています。

